

資本業務提携

2016年5月13日

資本業務提携の概要

【業務提携①】日立キャピタルと三菱UFJリースの提携

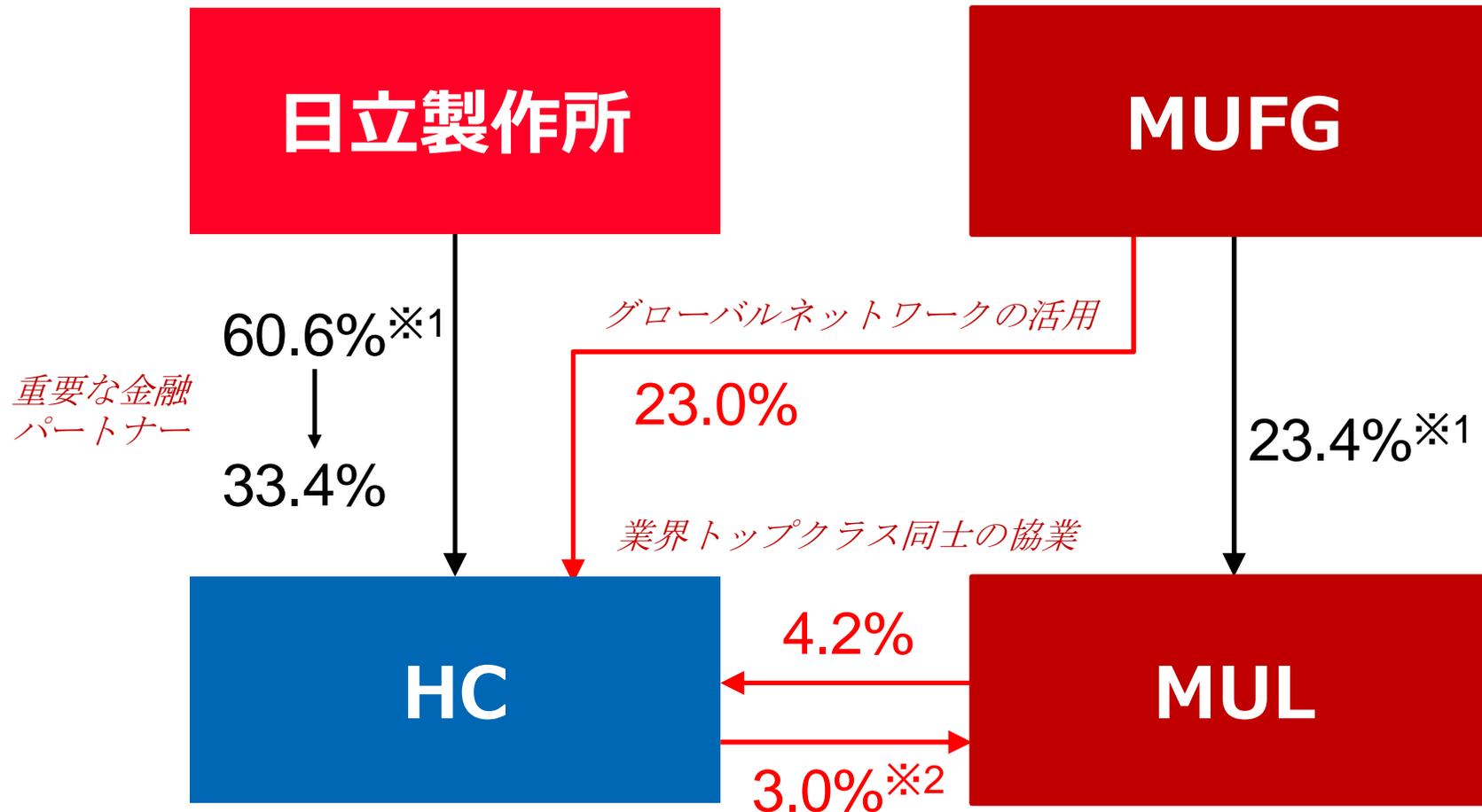
- 両社の金融機能及びソリューション提供の強化が目的

【業務提携②】金融プラットフォームの構築に関する提携

- 日本のインフラ産業を金融面で支える、オープンなプラットフォームの構築をめざす
- 三菱UFJフィナンシャル・グループ(MUFG)、三菱東京UFJ銀行(BTMU)、三菱UFJリース(MUL)、日立キャピタル(HC)、日立製作所は今後具体的な協議を進めることで合意

株式譲渡後の資本関係

- 日立製作所が保有するHC株式の一部（27.2%）をMUFGとMULそれぞれに譲渡



※1 グループ保有分を含む。議決権ベース

※2 市場からの取得

【業務提携①】 HCとMULの業務提携

目的

- 相互の事業基盤を有効活用した既存事業の強化
- 両社のノウハウやネットワークを活用した新たな事業機会の創出
- 両社の強みを結集した新たなソリューションの開発

協業領域

地域・分野は以下を想定
(広範囲なテーマについて継続協議)

【国内】

- 環境・エネルギー分野、都市インフラ・公共施設、不動産、IoT分野の共同研究等

【海外】

- 米州、ASEAN、中国等

【業務提携①】

両社の強みを結集し、新たなソリューションを創出

事業領域	HCの強み	MULの強み
環境・エネルギー分野	<ul style="list-style-type: none">• 日立グループとの協業（太陽光・風力）	<ul style="list-style-type: none">• 太陽光発電• アセマネ事業
都市インフラ・公共施設	<ul style="list-style-type: none">• 官公庁との豊富な取引実績・顧客基盤	<ul style="list-style-type: none">• 教育施設、水・環境施設、衛星等
不動産	<ul style="list-style-type: none">• 物流施設等	<ul style="list-style-type: none">• 商業施設• 老朽不動産再生



【業務提携①】

ノウハウやネットワークの相互補完による海外事業拡大

米州

HC

- 商用トラック
- ヘルスケア
- ファクタリング

MUL

- 航空機
- 鉄道、コンテナ
- 設備ファイナンス

中国

HC

- 公共向けF
- ヘルスケア
- ファクタリング

MUL

- 省エネ
- 企業向けF
- マシナリー

欧州

HC

- コンシューマーF
- ビークルソリューション

MUL

- 航空機
- 航空機エンジン

ASEAN

HC

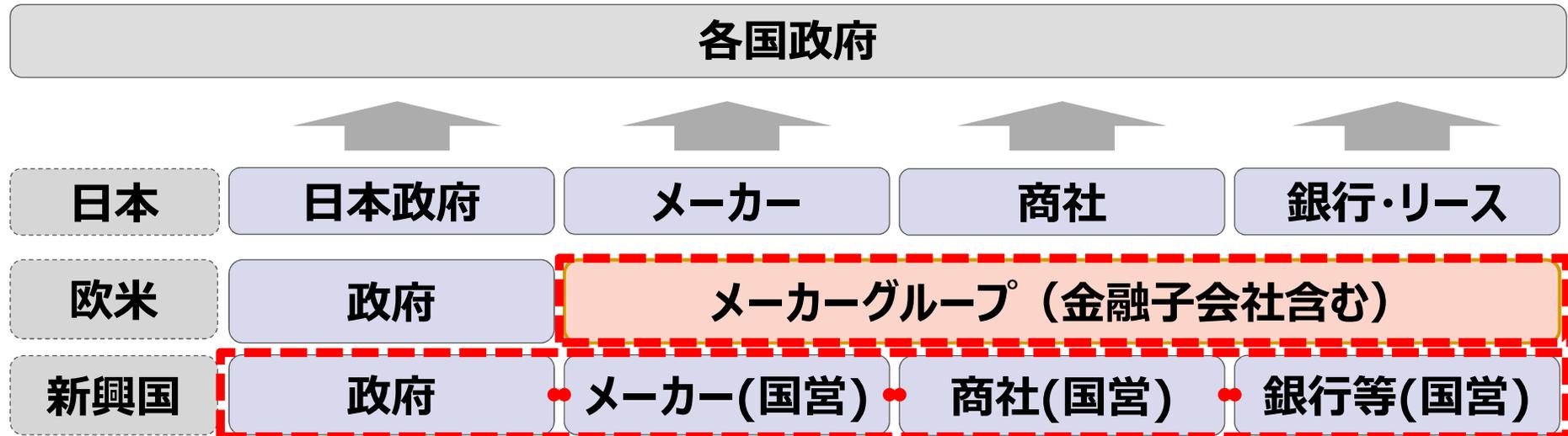
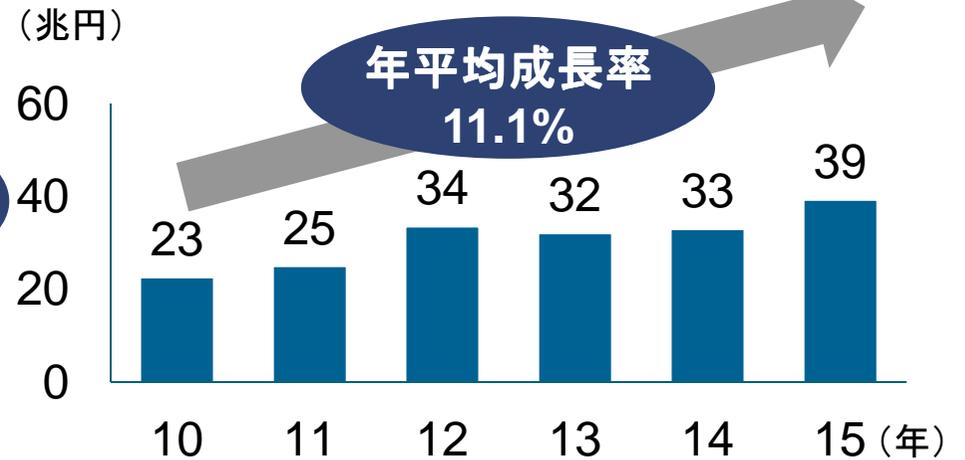
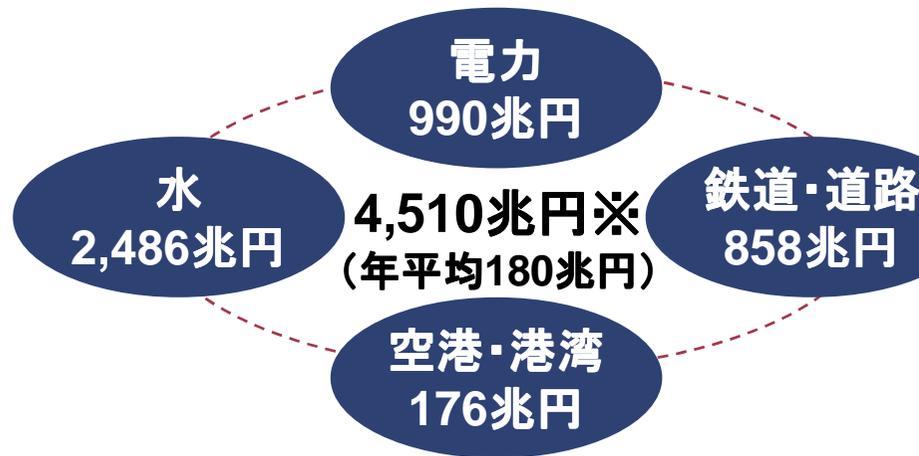
- 産業機械
- ビークル

MUL

- オートリース
- 中古機器

※強みのある分野

インフラ市場におけるファイナンスニーズの高まり

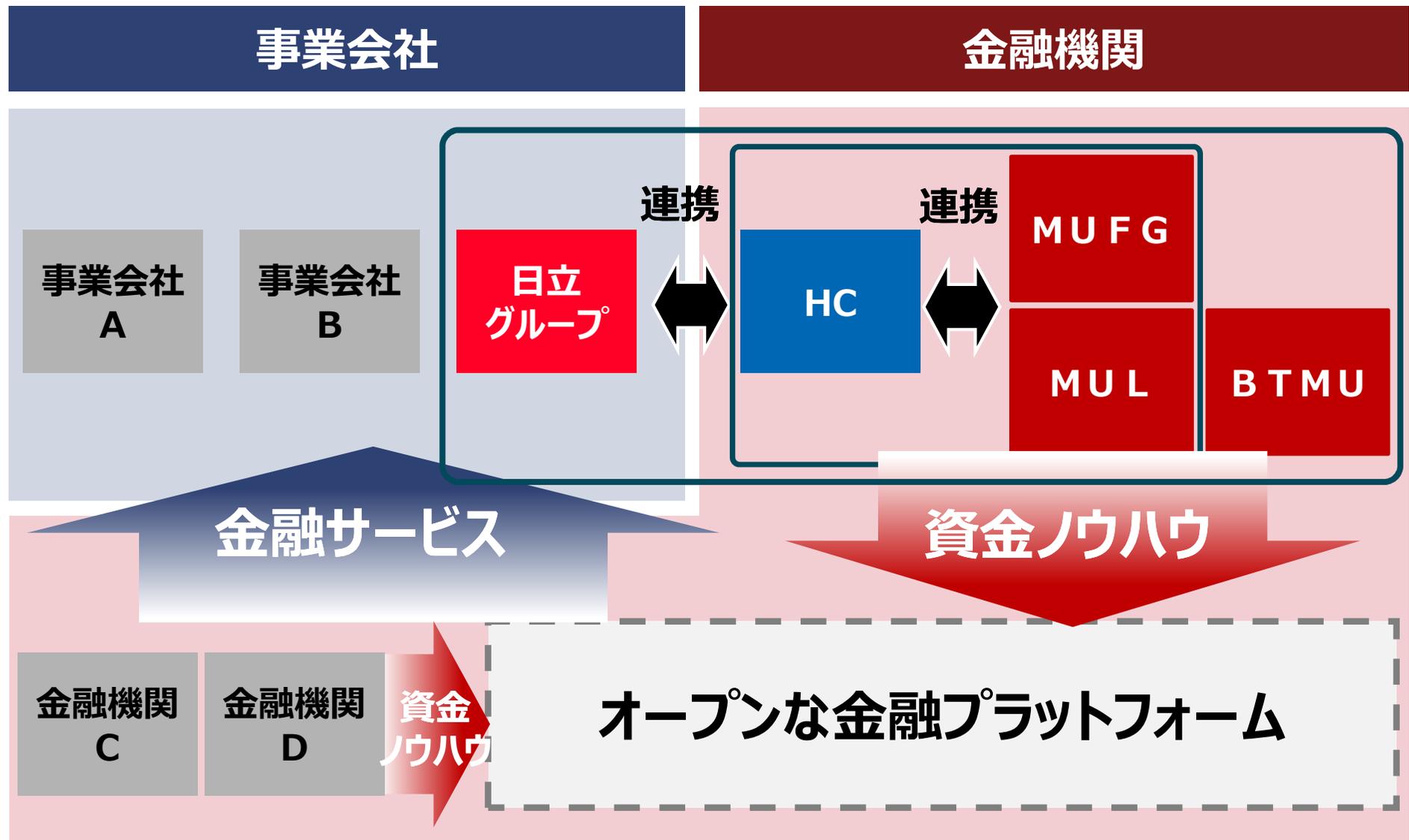


※MUMSS調べ

※05~30年までの世界のインフラ総投資額

➡ パッケージディールが競争力の源泉に

【業務提携②】インフラ産業を金融面から支援する オープンな金融プラットフォームのイメージ



今後のスケジュール

①: 本日

- 業務提携等に関する基本合意書の締結
- 株式譲渡契約を締結

②: 2016年 8月目処

- 関係当局への諸手続き
- 株式譲渡のクロージング

③: ②完了後

- 金融プラットフォームの設立
- 経営統合を一つの選択肢とした将来の関係強化に向けて、適切な時期に協議開始

ご清聴ありがとうございました